

地域防災のリーダー

消防団基礎訓練



休日を返上しての訓練ご苦労さまでした

5月17日(日)役場駐車場を会場に、新たに入団された方や経験の短い方々を対象として消防団員の基礎訓練が行われました。

各地区から参加された団員の方々は、休日を返上しての訓練でした。前半は規律訓練で、慣れない動作などに戸惑いを感じていたようですが、消防署の熱心な指導で徐々に体も慣れてきたようです。後半に行われたポンプの操作などでは、みなさん手際よくてきばきとこなしていました。



歩いたあとのお弁当は、とてもおいしいです。

公園では、青空の下、おもいおもいの場所でお弁当を食

べながら主催者や婦人会のみなさんが用意してくださったとん汁をごちそうになりました。帰り道は、道端の草花などに目を向けながらのんびりとしたペースで歩き、今日の感想を友達同志で話したりと、楽しかった一日を振り返っていました。

次回(秋)は、佐原方面を予定しているようです。みなさんも一度、参加してみてくださいか。

海岸は、潮干狩りなどにきていた人でにぎわいを見せていましたが、子どもたちは波

とたわむれ、親子連れは貝殻拾いに興じ、心地よい潮風に吹かれながら初夏の海を満喫

していました。白い砂浜を歩くこと20分、昼食地である蓮沼海浜公園に到着。

文芸

俳句

踏躰に羽毛のちるや巢立鳥

戸村 静華

職人の食たのもしき浅蜷汁

藤代 ゆう

ランドセルにつけて帰れる春の泥

玉虫たけし

楊貴妃の夢うつつや睡り花

山口 一秋

春耕や水滴満と陽のまぶし

海保 きみ

初夏の風われを追ひ越す救急車

鈴木 南知

若芽伸ぶいい汗かこう日曜日

行方はじめ

百年の知己の顔して苗を売り

勝又 和徳

家畑の三月豆を汁の実に

若梅あやめ

海棠や棺の妻は化粧濃く

(選者) 土屋 栗水

短歌

体調の健やかなるや目覚めたる夫の口笛厨にきこゆ

池田 春江

ドア越しに床ワックスの匂ひくる塗りていく日も部屋にこもる

ふ そがひよりすじ雲生れて朝富士の頂近く巻きはじめたり

秋葉 悦子

台湾にゐる身忘れて突然の雷雨に鉢物入れむと立てり

瀬谷 静子

春の野に高く泳げる鯉のぼり間近く生るる曾孫を思ふ

吉岡 信子

消灯の頃まで商ふやき芋やの声かすれつつ風にのりゆく

秋葉 とく

青い鳥の振り子揺れるる置時計剣道教へし子等よりの賜物

鈴木 やす

石の上に首と手足を思ひきりのばして亀は甲羅ほしをり

西山満里子

休日に水田耕す青年の腰のラジオがロックを流す

萩原 信一

春の日はステンドグラスにしばし燃え下ゆく少女の服に彩へり

木川 布佐

